

## 教員養成塾の普及・推進事業

### 調査の概要

#### ◆課題認識

- ・教育委員会と大学とが一体となった教員養成の仕組みづくりが構築できていない。
- ・広島県内の小学校は95%以上が中山間地域を有する市町に設置されているため、中山間地域で教鞭をとる優秀な教員確保が重要な責務である。

#### ◆調査研究の目的

- ・3年間にわたるプログラムが、将来教員に採用された際の円滑な入職に結び付く実践的指導力の基礎を身に付けることに有効か検証する。
- ・中山間地域をはじめとした広島県の教育を担う人材の育成に資するプログラムであるかを検証する。

#### ◆調査研究の方法

- ・採用から10月経過後に行われる特別評価における換算点（180点満点）について、修了者と未修了者との平均点を比較する。
- ・プログラム開始（入塾）時、修了（卒塾）時に、それぞれ同じアンケートによる調査を行い、興味・関心、意欲の高さを5段階評価で点数化した合計点の平均点を比較する。

#### ◆現状

- ・平成29年度入塾生：65名
- ・平成30年度入塾生：49名
- ・実地研修受入校：84校

### 取組のポイント・成果

#### ◆取組のポイント

##### ① 集合研修（参加率93%）

- ・民間、県立教育センターの指導主事、府中市教育委員会教育長、広島修道大学教授を講師に招聘するなど、高い専門性をもつ多様な人材を活用した。
- ・実地研修実施前に、マナーや接遇、児童対応等についてのロールプレイを多く取り入れた講義を実施した。
- ・大学1、2年次共に県内の山や海に囲まれた自然豊かな地域の特色ある小学校に出向き、児童とのふれ合いや優れた授業力を有する教員の授業参観等を中心に据えた研修を実施した。
- ・大学2年次では「授業の工夫」「実地研修校の所在地域の魅力」についてレポートを作成し交流した。
- ・指定10大学を個別訪問し、研修内容、塾生の実態・変容について連携し研修内容の改善を図った。

##### ② 実地研修（実施率99%）

- ・全ての塾生が大学1年次20時間以上、大学2年次40時間以上の実地研修を確実に実施できるよう塾生の希望に沿う受入校へ配置した。大学1年次の塾生1名が体調不良等の理由で実地研修を実施できなかったが、代替の研修を実施した。
- ・効果的な研修を実施するため、広島市を除く22市町教育委員会や各教育事務所等に本事業の担当者を位置付け、一同に介しての説明会を実施した。

#### ◆成果

- 教員を志す学生の育成における県全体の機運が高まった。
- 塾生及び指定10大学において関係職員の意識が変容した。
- 次年度に向けて本事業のプログラムを改善することができた。



### 今後の課題

#### ◆「継続的な指定大学 との連携」

- ・塾生自らが、大学内等において本教師塾で「何を学び、今後大学でどのように学びを深める必要があるか」など随時、還元・普及する場を設定していただけるよう大学と更なる連携を図る。